

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原中央計画新築工事	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区中央1丁目217-1,217-3,21	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	G地域	年間使用時間	2,920時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年9月 竣工	評価の実施日	2017年3月20日
敷地面積	3,663 m ²	作成者	㈱環アソシエイツ
建築面積	1,202 m ²	確認日	2017年3月23日
延床面積	2,276 m ²	確認者	㈱環アソシエイツ

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>3.0 1.5 BEE=1.0</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 97% ③上記+②以外の 97% ④上記+ 97%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.5</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 2.8</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>省エネ対策などを施すことで地球環境負荷の低減を目指し、周辺環境にも配慮した。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>外壁熱損失の低減を図るため、外壁断熱性能を考慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高、天井高にゆとりを持たせて快適性を確保し、バリアフリーとした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>地域の町並み、景観への配慮を考慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>エネルギー損失の削減を考慮し、高効率機器を採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>地球環境、人体への健康配慮した建築材料の選択を行った。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺の渋滞緩和のために適切な駐車スペース数を確保した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される